



提供：石岡まちづくりアカデミーⅢ

主 な 内 容

- 平成 22 年度 予算特集
元氣いしおかをスローガンにスタート P2
- 4 月 1 日～
子ども手当制度が開始 P8
- 総務省の行政相談
めざそう住みよいまちづくり P9
- 5 月 12 日～ 16 日
第 14 回八郷美術展 P12
- ごみの減量化に協力を P17

茅葺き民家が 国の有形文化財に

(辻)

辻の茅葺き民家が、3月19日に文化審議会により、国の有形文化財への登録を答申されました。

この住宅は、明治前期に建てられた木造平屋建ての茅葺き民家です。屋根は、一層一層刈り込んだ美しいしまもよう縞模様の「トオシモノ」と呼ばれる軒付けが施され、見応えがあります。



元気いしおか

をスローガンに
平成22年度

スタート

市議会第1回定例会で、久保田健一郎市長は市政運営の基本方針と主要施策の大綱など新年度の施策方針を述べました。これからのまちづくりに向けての重点的な取り組みの概要をお知らせします。

市政運営の基本的な考え

市では活力に満ちあふれた地域の実現のため、市民との役割分担の中で主体的に行動し、その行動と選択に責任を負いながら市政に取り組みます。

市の現状は、人口減少傾向が進むなど、地域の活気が失われつつあります。さらに、雇用情勢も厳しい状況です。

今後、市の魅力を活かして輝く石岡をつくるためには、働く場所をしっかりと確保し、就業人口を増加させると同時に、住んでみたいまち、住んで良かったまちをつくることで、人口増加に結びつけていくことが重要と考えています。

そこで、「元気いしおか」をスローガンに掲げ、四つの政策の観点から市政運営に取り組みます。

1 「元気のあるまちづくり」

石岡で働くこと、学ぶことで市民が生きがいを持って暮らせるとともに、誇りの持てる地域とするために産業・教育などあらゆる面で笑顔あふれるまちづくりを行い、地域を元気にします。

2 「生活優先のまちづくり」

市民の立場に立つて、暮らしやすい生活環境の整備・充実を図り、住み続けていただけるよなまちづくりを行います。

3 「市民の声が最優先するまちづくり」

住み続けていただくためには、市民が考え、参加できる協働のまちづくりが欠かせません。市政の主役である市民の声を大切にし、相互に情報の共有化を図り、市政に反映させます。

4 「ムダのないまちへ」

これらのまちづくりを実現させていくためには施策の重点化や効率化が求められます。行政のムダを排除し、健全な財政計画を立てて、効率的・効果的な市政運営に取り組みます。

平成22年度経営方針

全庁的な新規重点テーマと
継続重点テーマに対する考え

■新規重点テーマ

「元氣いしおか」

①産業の振興

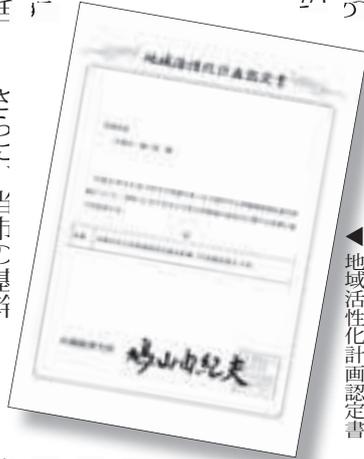
地域の元氣は、市民の元氣からもたらされるものです。そのためには、働く場所を確保する必要があります。進みつつある人口減少傾向への歯止め対策として、雇用を創出するため企業や工場・研究機関などの誘致が大切です。

この取り組みについては、新規に立地する工場などに一定の条件を満たせば、3年間の固定資産税を免除する優遇制度を引き続き実施すほか、企業立地に向けた誘致活動を積極的に行います。

また、商業の再生にも取り組みます。昨年の12月に内閣総理大臣から認定を受けた中心市街地活性化基本計画に基づき、人の集まる仕掛けづくりや賑わい

づくりを行うため、空き店舗を活用して若者を中心市街地に呼び込む「テナントミックス事業」をはじめ、「石岡駅周辺整備事業」など歴史的な街並みを活かす事業などを実施します。

特に認定の主要事業となった「テナントミックス事業」は、市内の高校とタイアップしてのスイーツ・アンテナショップや農産物直売所、地場産品を使った地産地消レストランの設置などを着実に実行し、まちなかの賑わいを創出します。



◀地域活性化計画認定書

さらに、当市の基幹産業である農林業の振興について、戸別所得補償モデル事業

や自給力向上事業など水田農業の大きな政策転換に対応しながら、飼料用米生産による耕畜連携や資源循環型農業を展開します。また、低農薬・減化学肥料

農産物生産に取り組む農業者への支援事業や地元農産物を活用した特産品づくりに取り組み、地域農業の活性化と担い手育成に努めます。

②市民との協働

市政の主役である市民一人ひとりの声を大切にし、市報やホームページをはじめとした市政に関する情報の発信と、市民の声を聴く広聴機能の充実を図ることによって情報を共有化し、市民それぞれの立場で参画

できるまちづくりに取り組みます。そのために、市の情報は積極的に分かりやすく、そして丁寧に情報を発信します。

継続重点テーマ

ひとづくり

平成22年度から政府が実施する子ども手当は、確実に支給されるよう努めます。

学校や家庭での教育力の向上を図るため、小中学校における英語指導助手を増員し、英語教育における国際理解教育や英語活動の充実を目指します。

②地域の均衡ある発展

生活を支える機能の強化を図るため、安全・安心まちづくり推進事業として、犯罪を未然に防止するため、新たに石岡駅周辺や高浜駅に防犯カメラを設置するとともに、エンゼルパトロールの組織強化を図ります。また、合併特例債を活用した幹線道路の整備などを計画的に実施します。

優先施策に対する考え

①道路の整備

引き続き、朝日トンネルの整備をはじめ、地方道路等整備事業として恋瀬川左岸堤、東石岡四丁目、真家などの9路線、その他一般市道の整備に努めます。

②駅・市街地などの整備

石岡駅を本市の玄関口にふさわしい駅舎とし、自由通路や広場などの整備をはじめ、利用者の利便性向上を図ります。

また、鹿島鉄道跡地を活用したバス専用道（BRT）の利用促進に努めます。これらの施策により中心市街地の活性化の促

進に努めます。

③児童福祉の充実

子育て支援の整備として、やささと中央保育所に地域子育て支援センターを併設し、家庭で子育てをしている保護者の相談や情報交換など、子育てに関する総合的な支援活動を行い、児童福祉のさらなる充実を目指します。

④学校施設の整備・充実

学校施設の整備については、引き続き東小学校の改築を進めるとともに、今年柿岡中学校改築の実施設計に着手します。また、有明中学校は、生徒の安全を第一に考え、仮設校舎での授業を行うことになりました。



これらの施策をはじめ、市民ニーズを的確に捉えた事業を着実に実施していくこととしまして、平成22年度に臨む基本的姿勢と市政運営の所信といたします。

平成22年度 予算

一般・特別
総額

465 億円

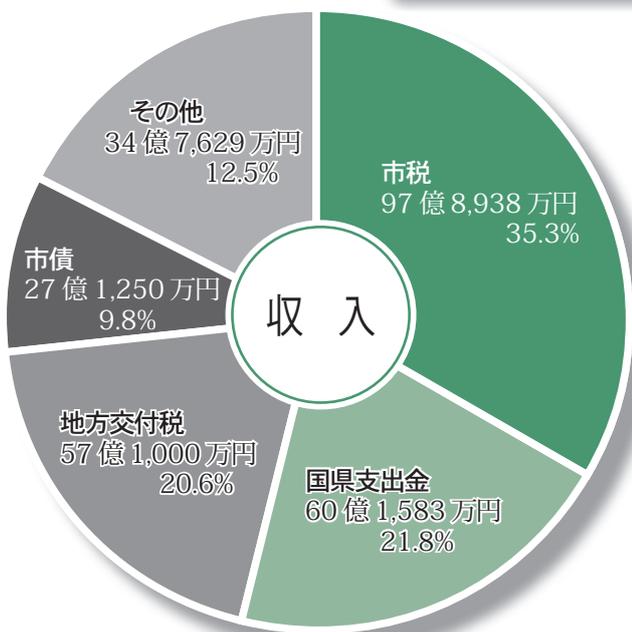
一般会計

277 億 400 万円

特別会計

187 億 5,117 万円

一般会計 収入 277 億 400 万円



平成22年度の一般会計予算は、277億400万円です。前年度と比べ11億8800万円の増額、4.5%の伸びとなっています。国民健康保険や介護保険などの特別会計を含めた全体の予算規模では、前年度より0.7%、3億3649万5千円増加し、464億5517万4千円となっています。

一般会計の収入の主なもの

としては、市税が前年度と比べ4.6%、4億7457万7千円減の97億8937万7千円、地方交付税が前年度と比べ13.7%、6億8600万円増の57億1000万円、国県支出金の60億1583万3千円などとなっています。

支出は、経営方針に掲げられた全庁的な「重点テーマ」および「優先施策」に重点を置いた配分としました。

「重点テーマ」の主な事業として、雇用を創出するための企業立地・誘致の取り組みとしての企業誘致推進事業・商業の再生のための中心市街地活性化事業・エコ農業茨城推進事業・いばらき農業元気アップチャレンジ事業・子ども手当経費などに新たに取り組み、合併市町村幹線道路緊急整備支援事業や、商工振興事業などは継続して実施します。

「優先施策」の主なものは、石岡駅周辺整備事業や、東小学校児童保育施設建設事業・有明中学校仮設校舎借上料の新規事業のほか、地方道路等整備事業・東小学校改築事業・柿岡中学校改築事業など継続する事業です。

特別会計は、前年度と比べ4.3%、8億5150万5千円減の187億5117万4千円となっています。

主な減少の理由は、老人保健事業の医療給付事業が後期高齢者医療広域連合に移行したことで、水道事業・下水道事業・農業集落排水事業の借換債がなくなつたものです。

〔用語の説明〕

〔収入〕

市税：市民税や固定資産税などの税金

地方交付税：一定水準の行政サービスを提供できるように、国から交付される交付金

国県支出金：特定の事業に対する国や県からの補助金など

市債：国や銀行などからの借入金

その他：使用料及び手数料、地方消費税交付金、分担金及び負担金、諸収入など

〔支出〕

目的別分類

市の経費を、行政目的によって

総務費・民生費・土木費・教育費などに分類したもので、おおよその予算の比重を知ることができます。

総務費：市組織の運営、徴税、選挙、統計など

民生費：児童、高齢者、障害者、医療福祉、生活保護など

衛生費：各種検診や予防接種、ごみの収集・処理など

農林水産業費：農業・林業の振興など

農林水産業費：農業・林業の振興など

特別会計予算額

187 億 5,117 万円

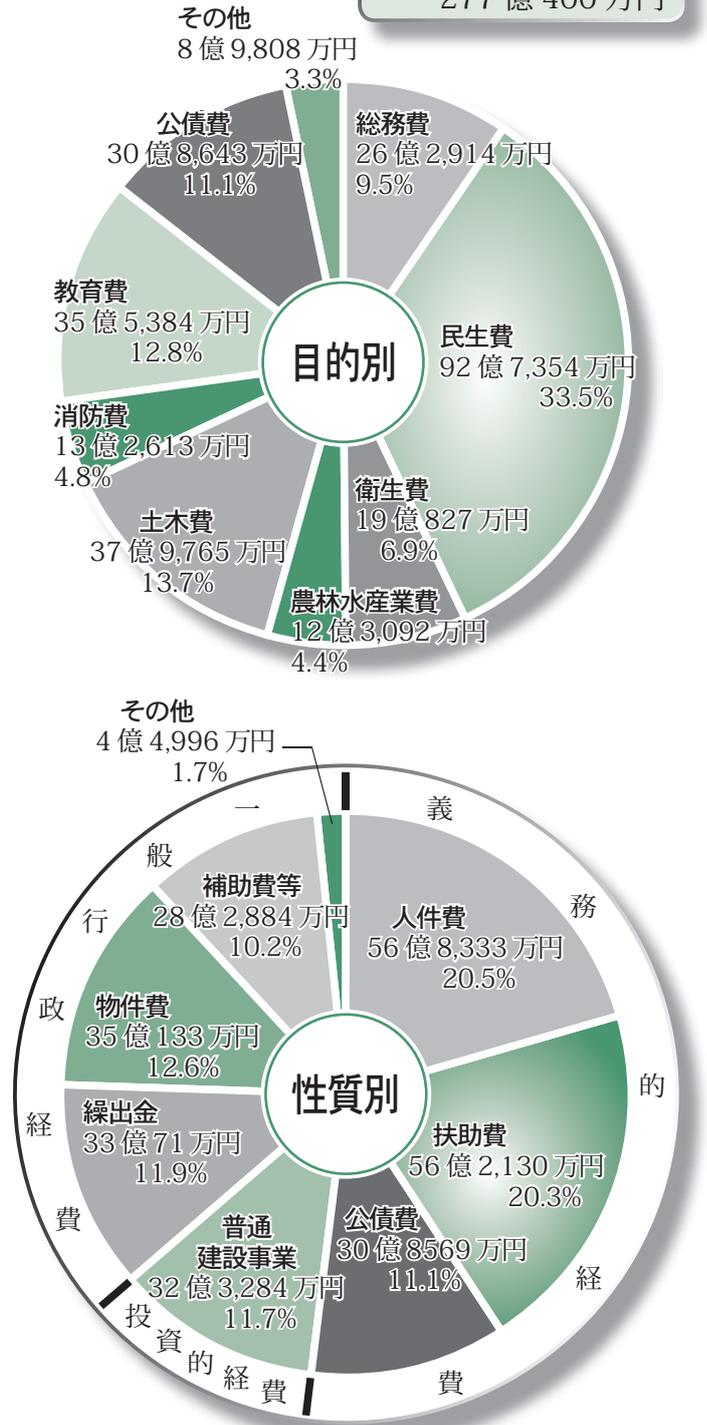
(単位：万円)

特別会計名	平成 22 年度	対 前年度比	
		増減額	増減率 (%)
授産所	2,685	77	3.0
国民健康保険	90 億 6,300	1 億 9,500	2.2
簡易水道事業	2,856	394	16.0
下水道事業	24 億 4,854	△ 2 億 2,017	△ 8.2
駐車場	1,827	△ 26	△ 1.4
老人保健	302	△ 3,601	△ 92.3
農業集落 排水事業	3 億 2,363	△ 2 億 9,474	△ 47.7
霊園事業	1,955	△ 1,570	△ 44.5
介護保険	50 億 4,096	2 億 819	4.3
介護 サービス事業	2 億 9,058	3,331	12.9
後期高齢者医療	6 億 4,739	586	0.9
水道事業	8 億 4,082	△ 7 億 3,170	△ 46.5
特別会計 計	187 億 5,117	△ 8 億 5,151	△ 4.3

(△印は前年と比べマイナス)

一般会計 支出

277 億 400 万円



■ 問い合わせ

財政課

☎ 23・1111

(内線 231)

性質別分類

市の経費を、経済的性質を基準として、人件費・扶助費・普通建設事業などに分類したもので、財政の分析に重要な分類です。

人件費：職員の給与、共済費など
 扶助費：生活保護、子ども手当、老人福祉費など
 普通建設事業：保育所、学校などの公共施設の建設、道路や公園等生活基盤の整備など
 物件費：施設の維持管理や運営など
 補助費等：団体運営や事業などに対する補助金や負担金

土木費：道路や橋、公園などの整備や管理など
 消防費：火災や水害などから市民を守るための経費
 教育費：小・中学校の整備や生涯学習、スポーツ振興など
 公債費：借り入れた市債の返済にかかる元金、利子

平成22年度の主な事業

(新規事業は、★印で表示)

【明日を拓くまちへ】

- 石岡駅周辺整備事業(石岡駅周辺整備基本設計業務委託料、鹿島鉄道跡地開発調査業務委託料) 6723万円
- 合併市町村幹線道路緊急整備支援事業(八郷・新治線ほか) 11億9392万円
- 地方道路等整備事業(恋瀬川左岸堤、北根本、碁石沢、石川、真家ほか) 2億4800万円



整備が進む「かしてつ跡バス専用道」

- かしてつ跡バス専用道推進事業(実証運行事業ほか) 460万円

- 一般市道整備事業 2億776万円

- ★橋りょう維持費(橋りょう長寿命化修繕計画策定委託料) 600万円

- ★市営住宅長寿命化改修事業 8382万円

- 賃貸住宅ストック事業 881万円

- ★住居手当緊急特別措置事業 935万円

- 簡易水道事業(簡易水道事業変更認可申請書策定委託料ほか) 1833万円

- 流域関連公共下水道整備事業(★ポンプ場施設長寿命化対策委託料ほか) 2億6093万円

- 公共下水道整備事業(★下水道整備計画変更業務委託料、★下水道・農集排統合全体計画策

- ★いばらき元気アップチャレンジ 278万円

定業務委託料ほか

2億3343万円



整備が待たれる石岡駅周辺

【産業の輝くまちへ】

- ★企業誘致推進事業(石岡市工場誘致奨励金ほか) 1374万円

- ★中心市街地活性化事業(テナントミックス店舗職員雇用委託料、タウンマネージャー雇用助成補助金ほか) 650万円

- 農道・農業排水路整備事業 1854万円

- 畑地帯総合整備事業(三村・東成井地区) 3665万円

- ★エコ農業茨城推進事業 278万円

ジ事業

173万円

- 産地確立推進事業(ブロックローテーション定着化促進事業補助金ほか) 1億1052万円

- 林道開設事業(半田線ほか) 8170万円

- がんばる商店街支援事業補助金 650万円

- 観光対策経費(観光PR委託料ほか) 5145万円



観光シーズンに運行される観光巡回車

- フラワーパーク管理運営費(★イベント・展示企画委託料ほか) 7085万円

【安全で安心して暮らせるまちへ】

798万円

- 安全・安心まちづくり推進事業(★防犯カメラ設置工事ほか) 798万円

交通安全対策経費

2559万円

- 防災対策経費(★土砂災害ハザードマップ作成委託料ほか) 1696万円

- 消防水利施設整備事業 2144万円

- 消防一般経費(★電波伝搬調査業務負担金ほか) 1779万円

- 救急活動経費(★新型インフルエンザ感染防止機材ほか) 669万円

【笑顔と元気の あるまちへ】

10億4247万円

- ★子ども手当経費 10億4247万円



○保育支援関係経費（★民間保育所低年齢児保育体制緊急整備事業委託料ほか）
1億4236万円

○保育事業費（統合保育所も含まれた公立保育所の児童健全育成）
1億5276万円



子育て支援センター（やさと中央保育所内）

○医療福祉市単独事業（小中学生の入院費の一部負担）
516万円

○高齢者等支援事業
2905万円

○障害者自立支援給付事業
7億3732万円

○病院群輪番制病院運営補助金
3097万円

○予防接種事業（1～15歳の児童を対象にインフルエンザ予防接種の一部助成）
1億2052万円

○成人保健事業（後期高齢者人
計委託料）
6720万円

間ドック補助金ほか）
5318万円

【人を育むまちへ】

○語学指導事業（★小中学校に増員）
2863万円

○T・T特別配置事業
338万円

○学校管理運営経費（★教育委員会バス運行委託料ほか）
1億9612万円

○学校維持管理経費（★有明中学校仮設校舎借上料ほか）
1億4478万円

○学校いきいきプラン推進事業（小中学校）
1286万円

○東小学校改築事業
9億6211万円



改築工事中の東小学校

★柿岡中学校改築事業（実施設
計委託料）
6720万円

○幼稚園教育振興事業
9884万円

○社会教育振興事業
853万円

○放課後児童対策事業（★東小学校児童保育施設建設事業）
1億721万円

○放課後子ども教室推進事業（吉生小、恋瀬小、小幡小、葦穂小）
390万円

○イベント広場管理経費（★広場フェンス改修事業ほか）
2409万円

○石岡運動公園維持管理経費（★体育館床改修工事ほか）
4767万円



指定文化財保存事業(国分寺日千手院山門)

○文化財保護保存及び普及経費（★指定文化財等保存事業補助金ほか）
1466万円

○生涯学習推進事業、青少年育
成事業、体育振興活動経費
2031万円

○農業者トレーニングセンター
維持管理経費（★体育館照明設備交換工事ほか）
1089万円

○霞ヶ浦浄化対策経費（合併処理浄化槽設置事業費補助金ほか）
6358万円

○森林機能緊急回復整備事業
4675万円

○身近なみどり整備推進事業
580万円

○ごみ減量・資源化推進事業
458万円

○公害対策経費
125万円

○区長自治連合会補助金
185万円

【協働で歩むまちへ】

○コミュニティ・新生活運動事業
513万円

○男女共同参画推進事業
100万円

○ふれあい交流事業
644万円

○旭台会館管理経費（★屋上防水改修工事ほか）
892万円

○市庁舎維持管理経費（★市庁舎救助袋設置工事ほか）
9715万円

★旅券事務費（端末機器借上料）
9715万円

○市庁舎維持管理経費（★市庁舎救助袋設置工事ほか）
9715万円



本年1月から市役所に開設されたパスポート窓口

4月1日～ 子ども手当制度が開始

子ども手当は、これまでの児童手当に替わり、中学3年生までの子どもを養育する人に支給する制度として新たに創設されました。

平成22年4月1日時点で、中学2・3年生の保護者と所得制限により児童手当を受給していない保護者は、手当を受給するための手続きが必要となります。

●問い合わせ こども福祉課
☎ 23-1111 (内線 163)



子ども手当制度とは？

子ども手当は、次代の社会を担う子どもの健やかな育ちを社会全体で応援する制度です。

◆対象者

- ・ 中学校を卒業するまでの子どもを養育している保護者。保護者とは、子どもの父または母で、家庭での生計中心者です。
- ・ 父母に養育されていない子どもについては、子どもを監護し、生計を維持している人が対象者になります。

◆支給額(月額)
一律で1万3000円(子ども一人につき)

◆支給月

原則として、6月・10月・2月の年3回で、それぞれの前月分までが支払われます。

◆子ども手当と児童手当の違い

名称	対象児童	所得制限	支給額	支払月
児童手当	0～12歳 小学校修了まで	あり	5000円～ 1万円	2月 10月 6月
子ども手当	0～15歳 中学校修了まで	なし	1万3000円	2月 10月 6月

どんな手続きが必要？

1 児童手当を受給している人

・ 中学1年生(平成9年4月2日以降生まれ)までの子どもがいる場合
これまで、児童手当を受給していた人には、自動的に子ども手当が支給されます。

2 額改定認定請求書の提出

5月上旬に書類を送付します。
※申請時に添付する書類は、同封してある通

2日生まれく平成9年4月1日
生まれ)の子どもがいる場合
「額改定認定請求書」の提出
が必要になります。該当者には、



知書で確認ください。

2 児童手当を受給していない人

認定請求の手続きが必要になります。5月上旬に送付する「子ども手当認定請求書」に記入のうえ、申請ください。

※申請時に添付する書類は、同封してある通知書で確認ください。

3 公務員の人

勤務先で手続きしてください。

申請の期間などは？

◆申請受付締切

9月30日(木)まで

10月1日以降に申請した場合、4月分からの支給にならず、申請した月の翌月からの支給になりますのでご注意ください。

*4月1日以降、転入転出で市町村が変わったときや、子どもが生まれた時には、その都度「認定請求書」の手続きが必要になります。

詳しくは、問い合わせください。

めざそう 総務省の行政相談 住みよいまちづくり

側溝のフタがないので、あぶないわ！



行政相談委員（敬称略）
惣野代 悌孝（東光台三）
横田 まさ（山崎）
矢口 輝行（谷向町）



場所 市役所1階会議室
日時 午後1時～3時
7月9日（金）
1月7日（金）
3月11日（金）

行政相談所開設

相談は、無料・秘密厳守です。

場所 中央公民館相談室
日時 午後1時～3時
5月7日（金）
9月10日（金）
11月12日（金）

●人権擁護委員・行政相談所
秘書広聴課
☎23・1111（内線212）

●行政相談
総務省茨城行政評価事務所
行政相談課
☎0570・090110

問い合わせ
●人権相談所
水戸地方事務局土浦支局
☎029・821・0792

行政相談委員は、総務大臣から委嘱された身近な相談相手として、行政に関する相談などを受け付け、その解決に向けた活動をしています。市では、3人の行政相談員が活動しています。毎日の暮らしの中で、困っていること、悩んでいることなど気軽に相談ください。また、行政相談所も下記日程により開設しますので、気軽に相談ください。

憲法掲題 5月11日、7日
みんなで築こう人権の世紀
身近で起こる差別や偏見について一人ひとりが考え、人権尊重の意識を高め、豊かな人間関係をつくりましょう。人権問題の相談は、法務局の人権相談所か法務大臣から委嘱された人権擁護委員に相談ください。相談は無料で、秘密は厳守されます。

人権擁護委員（敬称略）

曾根田隆光（国府六）
額賀 密（根当）
綿引美恵子（片野）
大塚 郁郎（国府一）

青木 祥太（大増）
大竹 善倫（旭台三）
萩原 壽盈（弓弦）
内山 佑一（国府四）
皆川 信之（根小屋）

～考えよう相手の気持ち
育てよう思いやりの心～

まちの 話題 できごと

火災現場の人命救助 で4人を表彰



▲写真右から和田さん、上野さん、海老沢さん

3月8日、市役所で市内の海老沢正夫さん、上野國臣さん、和田知也さん、消防団員の島田恵一さんの4人が、火災現場での人命救助で表彰されました。



▲島田さん(写真右)

4人は、2月13日に市内若松二丁目地内で発生した建物火災の際にいち早く駆けつけ、協力して延焼する建物内で動けなくなっていた男性を救出し、到着した救急隊に引き継ぎました。病院に搬送された男性は、軽症で命に別状はありませんでした。感謝状の贈呈式で、市長は火災現場での4人の勇気ある行動に、敬意を表すとともに感謝の気持ちを述べました。

中学生807人、小学生828人が卒業

3月10日に市内の8中学校の生徒807人が、19日には19小学校の児童828人が卒業しま



▲林小学校



▲府中中学校

した。府中中学校（藤枝一成校長）では、191人の生徒が多くの来賓や保護者、在校生、教職員が見守る中、卒業式を迎えました。校長は、卒業生に「目的を

持った人間になって欲しい。自分の行いに責任を持てる人になって欲しい。もうひとりの自分の存在に気づき大切に育んでいって欲しい」と話しました。また、林小学校（谷仲紀彦校長）でも中学校の制服に身を包んだ25人の児童が卒業式を迎え、多くの人の祝福を受けました。校長から卒業生に「自分の夢を実現するため全力をつくして欲しい。感謝の気持ちを忘れないで欲しい」とはなむけの言葉が贈られました。

国府中がアルミ缶を集め 車椅子を寄贈

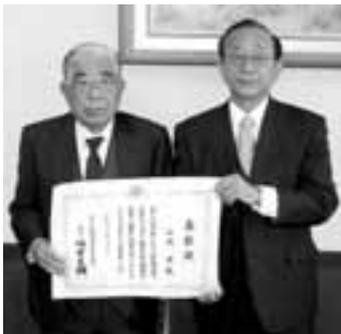


▲寄贈した車椅子と家庭教育学級の役員と生徒

3月18日、国府中学校（濱田

裕信校長）から車椅子1台が、社会福祉協議会に寄贈されました。これは、生徒たちが家庭学級活動の一環として家庭のアルミ缶を集めて換金。人のために役立てたいと車椅子を購入して寄贈したものです。

小池さんが地域伝統文化 功労者表彰受賞



▲小池貢さん(左)

小幡在住の小池貢さんが、財団法人伝統文化活性化国民協会から表彰されました。

これは、全国各地において伝統文化の活性化に尽力するなど地域文化の振興に貢献した個人や団体が表彰されるものです。小池さんは、弓矢作りの伝統技術伝承者として、顕著な業績を残したことが高く評価され、今回の受賞となりました。

2団体と14人がスポーツ振興奨励・功労表彰



▲スポーツ振興奨励・功労表彰受賞者

3月5日、市役所で平成21年度石岡市スポーツ振興奨励表彰とスポーツ功労表彰が行われました。スポーツ振興奨励表彰は、関東大会以上の大会で優秀な成績を収め、技術がきわめて優秀な団体や個人に、功労表彰は、本市のスポーツ水準の向上に貢献した団体と個人に対して贈られるものです。今年度は2団体と14人が受賞しました。

◎受賞者・受賞団体は次のとおりです。(敬称略・順不同)

●スポーツ振興奨励表彰

【団体の部】

- *石中男子バドミントン部
- *石岡モンキーズ(ミニバスケットボール)

【個人の部】

- *朝賀遼人(石小1年)、鈴木颯・林篤輝(石小2年)、木村豪(府中小2年) テコンドー
- *坂本貴紀(石岡商業・弓道)
- *山本萌・岡田紗季(城南中バドミントン部)
- *内田彩佳・友水陽香・仁平明花・飯村彩衣子・大手綾花(石小地区バドミントン)
- *海老澤年幾(東少年バドミントン)

●スポーツ功労表彰

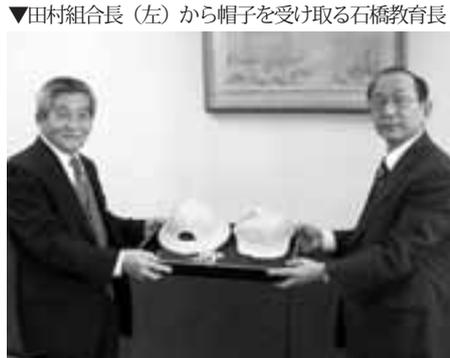
- *清水満(紫鏡クラブ) 体操競技

農協が交通安全を願う黄色い帽子を寄贈

ひたち野農業協同組合(金井一夫組合長)とやさと農業協同組合(田村和夫組合長)から、市内の新人児童に交通安全の黄色い帽子が寄贈されました。



▲金井組合長(右)から帽子を受け取る三村小の櫻井校長



▼田村組合長(左)から帽子を受け取る石橋教育長

この帽子は「子どもたちが交通事故にあわず元気に通学して欲しい」との願いを込めて毎年贈られています。

この帽子は、入学式の日子どもたちに手渡されます。

これから市内のあちこちで、黄色い帽子をかぶった子どもたちが元気に通学します。

地域に役立ちたいとナショナル製罐が寄付

3月5日、柏原工業団地の日本ナショナル製罐株式会社が地域にわずかでも役立ちたいと100万円を社会福祉協議会に寄付しました。

ナショナル製罐では、褒めることを会社の文化にしたいと、社内であった「ちよつと良い話」を気軽に公開すると、褒めた人に缶ビール1缶、褒められた人に2缶がプレゼントされます。それと合わせて、社会貢献活動としてプレゼントした缶ビール相当額を積み立てています。

今回は、地域の役に立つこと



▲寄付後、市長と歓談するナショナル製罐の役員

が自分たちの幸せにつながるとその積立金を寄付したものです。

シルバー人材センター会員が茨城空港を応援



▲石岡駅前プランターを設置する会員

石岡地方広域シルバー人材センター(木村芳城理事長)の会員が、茨城空港を応援しようと「ようこそ茨城空港へ」と印字したパンジーのプランターを、空港の玄関駅となる石岡・高浜・羽鳥駅と空港前350メートルの道路に設置しました。これは、会員が自分が働いた金額の1%を社会奉仕活動基金として積み立て、その資金をプランター購入にあてたものです。

会員たちは「気持ちよく空港を利用して欲しい」と話しました。